

川崎市における相談支援従事者研修体系（平成28年度～）（案）

研修名	実施主体	日数	実務年数	対象者	目標	研修科目	時間数	科目別獲得目標	内容
初任者研修 (法定研修)	川崎市	6日間	0年	相談支援事業に従事しようとする者	相談支援従事者の基本的業務を学び、ケアプランを立てられるようになる。	1 障害者総合支援法の概要	3	障害者総合支援法、児童福祉法の趣旨、目的。サービス内容の理解を深め、ケアマネジメントの制度化と市町村の相談支援事業の役割を理解する。	障害福祉の概要と制度の変遷を踏まえ、自立支援を図るために必要な障害福祉サービス及び児童福祉法によるサービスの意義と目的等、制度の概要を理解する（自立支援給付、地域生活支援事業、自立支援医療、補装具、利用者負担減免措置、障害福祉計画、不服申し立て及び障害児通所支援等）。また、地域移行支援、地域定着支援及び障害児相談支援の目的、対象者、支援内容、留意点等を理解する。
						2 障害者総合支援法等における計画作成とサービス提供のプロセス	2	サービス提供にあたっての一連のプロセスを理解する。	障害者総合支援法におけるサービス提供のプロセス（申請、サービス等利用計画書の作成、支給決定、サービス等利用計画の作成、個別支援計画の作成、モニタリング）を理解する。特に、サービス等利用計画と個別支援計画の関係及び相談支援専門員とサービス管理責任者との連携について理解する。
						3 相談支援の基本姿勢	1.5	相談支援において重視すべき理念等について理解する。	基本姿勢について理解する。例えば①ノーマライゼーションの実現、②自立と社会参加、③主体性、自己決定の尊重・支援、④地域における生活の個別支援、⑤エンパワメントの視点などについて具体的な場面を想定して説明する。
						4 ケアマネジメント（概論）	2	ケアマネジメントのプロセスと技術について理解する。	ケアマネジメントの目的、プロセス（アセスメント、プランニング、モニタリング等）、障害者の生活ニーズの捉え方など障害者ケアマネジメントの概論を理解する。
						5 ケアマネジメントの実践	6	実例を通して、アセスメント・サービス等利用計画作成・社会資源の活用と調整、モニタリングを理解する。	事例をもとに、前半2日間の講義を受けて一連のプロセスをシミュレーションし理解する（相談面接から主訴の把握、生活機能とその背景の把握、利用者の状況等、事例検討等を行うことにより、アセスメント等の理解を深める。生活の目標に向けたサービス及び社会資源の活用と調整等やモニタリングの具体的な内容について理解する。）。
						6 障害児者の地域生活支援	1.5	障害児者の地域生活における社会資源の役割や支援内容を理解する。	障害者の地域生活において、I C Fの視点をもとに人的支援、環境整備、就労支援、家族支援、医療、教育などの支援について実情を具体的に理解する（例えば障害者支援施設や精神科病院からの地域移行事例や重症心身障害児の地域生活事例などを例に、障害児者の地域生活における課題解決のための社会資源の活用についてふれる。）。
						7 相談支援における権利擁護と虐待防止	1.5	ケアマネジメントプロセス全般における権利擁護の視点と虐待防止などにおいて果たすべき役割を理解する。	具体的なケアマネジメント事例を通して障害者の権利擁護について理解する。また、障害者虐待防止法の概要と、各事業所が果たすべき役割を理解する。その上で、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の関連制度の重要性についても理解する。
						8 自立支援協議会の役割と活用	3	自立支援協議会の必要性と運営方法について理解する。	地域の社会資源の整備状況等のアセスメント（地域診断）を行い、その地域の課題を理解するとともに、協議会の役割を踏まえ、地域づくりのステップアップについて理解する。また、地域の相談支援事業所への支援などの基幹相談支援センターの役割及び同センターと協議会との関係について理解する。
						ケアマネジメントプロセスに関する演習	11		
						9 実習ガイダンス	1	実際の事例を選定して、ケアマネジメントプロセスを個別学習することによって、演習につなげる。	実習の目的、ねらい、方法、アセスメントツールについて解説を行う。
10 演習 I	3	課外実習で作成した各自のアセスメント表、サービス等利用計画書を発表し、相互の事例の理解を深める。	各自の事例を発表し、情報交換し、演習 II の事例を選択する。						
11 演習 II	4	模擬的なサービス担当者会議を通じて事例検討を行いケアマネジメント手法を具体的に理解する。	グループによって選択した事例をもとに役割を分担して模擬的なサービス担当者会議等を行い、サービス等利用計画を完成させる。						
12 演習のまとめ	3	発表事例の事後的・客観的評価により実習・演習の総括を行う。	発表事例の中から数例を選び、モニタリングの方法、事後的・客観的評価を行うことにより、総合的な援助の方針及び目標設定の整合性を確認し、ケアマネジメントについての理解を深める。						
現任研修 (法定研修)	川崎市	3日間	初任終了翌年度以降5年に1回以上	相談支援専門員及び相談支援従事者	地域診断の方法や自立支援協議会の運営方法を学び、区自立支援協議会を運営できるようになる。	1 障害者福祉の動向について	1	障害者福祉施策及び関連施策に関する最新の動向を理解する。	障害者福祉施策の他、介護保険制度、生活保護、年金、医療、労働等、関連施策の最新の動向について理解する。
						2 地域生活支援事業について	1	地域生活支援事業に関連する事例を分析し、専門的な支援が必要な事例の支援方法を学ぶ。	地域生活支援事業の事業内容について、事例を通して活用方法を理解するとともに、専門的な支援が必要な事例の支援方法を検討する。（例）発達障害児者や高次脳機能障害者の支援、権利擁護（虐待防止）に関する取り組み、障害者就業・生活支援センターによる就労支援など。
						3 相談支援の基本姿勢及びプロセスについて	2	相談支援において重視すべき理念及び相談支援の意義や役割等について理解する。	相談支援専門員としての基本的姿勢、役割、専門性を理解する。①ノーマライゼーションの実現、②自立と社会参加、③主体性、自己決定の尊重・支援、④地域における生活の個別支援、⑤エンパワメントの視点などについて具体的な場面を想定して説明する。また、「個別支援計画に至るまでの支援」、「ニーズの掘り起こし」など多様な相談支援の在り方について理解する。
						4 自立支援協議会について	2	自立支援協議会の運営等、地域の関係機関とのネットワークづくりについて理解する。	自立支援協議会の運営、地域課題へのアプローチ方法（地域診断から課題抽出へ至る）について整理するとともに、地域生活支援のネットワークづくり、地域生活支援システムの構築方法を検討する。
						5 障害者ケアマネジメントに関する演習	12		
6 障害者ケアマネジメントの実践	6	支援事例等の検討を行い相談支援従事者としての実務能力を向上させる。	各受講者の相談支援事例を発表し支援の検証を行う。発表事例や対応困難な事例について、演習方法により、ケアマネジメントプロセスの実施状況、チームアプローチのあり方等について、自己評価を含め、総合的な視点で検討する。						
7 スーパーバイズ	6	スーパーバイズを経験することにより、相談支援の質を確保する方法を理解する。	演習で発表した事例の中から選んだ数例について、自己評価とあわせて、講師又は受講生相互によるスーパーバイズを経験することにより、サービス等利用計画作成、サービス担当者会議の運営、モニタリング等に係るポイント、社会資源の開発改良のポイントを理解する。						
地域リーダー養成研修（市独自研修）	川崎市	5日間	5年以上	相談支援専門員及び相談支援従事者	相談支援における地域リーダーとして必要な知識・技術等を学び、人材育成及び地域づくり等を行えるようになる。	1 地域を基盤としたソーシャルワーク	6	地域を基盤としたソーシャルワークについて理解する。	地域を基盤としたソーシャルワークの概要等を学ぶ。
						2 ストレングスモデルに基づくケアマネジメント（演習）	12	ストレングスモデルに基づくケアマネジメントについて理解する。	ストレングスモデルに基づくケアマネジメントについて、その理念、手法、展開等について学ぶ。
						3 ファシリテーション（演習）	6	ファシリテーションについて理解する。	ファシリテーションの概要、手法等について学ぶ
						4 スーパービジョン（演習）	6	スーパービジョンの概要について理解するとともに、具体的な事例を通してスーパービジョンの効果、手法を理解する。	講義や演習を通して、スーパーバイザー・スーパーバイジーの立場を体験し、スーパービジョンの意義、構造、機能、手法等を学ぶ。
専門コース別研修 (法定研修)	神奈川県	—	—	初任者研修修了者	—	障害児支援、権利擁護、地域移行・定着、触法、セルフマネジメント、スーパービジョン等	—	—	